

答申にあたって

東京都廃棄物審議会は、2015(平成 27)年 6 月に、東京都廃棄物処理計画の改定について東京都知事から諮問を受けた。

東京都の廃棄物・リサイクルの状況を見ると、以前と比べて最終処分量や不法投棄件数は大幅に減少しているが、金属資源の違法輸出等、新たな問題も発生してきている。

また、近い将来、人口減少・超高齢化社会が到来するのは必至であり、それに対応した廃棄物処理システムの構築も求められている。

一方、地球規模での環境制約・資源制約はますます厳しいものとなっており、EU や国連においては資源効率・循環経済に向けた新たな目標の設定や政策の議論が行われている。

このようなことから、本審議会では、資源循環部会と廃棄物部会の 2 つの部会を設置し、持続可能な資源利用や廃棄物の適正処理等について、それぞれ議論を重ねた。併せて、パブリックコメント等で寄せられた多くの都民の意見も参考に審議を進めた結果、この度、別紙のとおり答申を取りまとめるに至った。

本答申は、廃棄物の適正処理の原点に戻りつつ、これまで以上に持続可能な資源利用の観点を取り入れることにより、幅広い施策を提言した内容となっている。

都が、本答申を踏まえ、新たな東京都廃棄物処理計画を策定し、世界一の環境先進都市・東京の実現に全力で取り組むことを期待する。

平成 28 年 1 月 27 日

東京都廃棄物審議会会長 田中 勝